

## 議事要旨(5) 金融商品専門委員会における検討状況について(公正価値開示)

冒頭、加藤副委員長(専門委員長)より、審議事項(5)-1に基づき、公正価値測定及びその開示に関する会計基準等の公開草案作成に向けた本日のディスカッション・ポイントについて説明がなされた。説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ・ ある委員から、公正価値を每期継続して注記している資産及び負債であっても、公正価値のレベル別の内訳の注記をすることが求められているという理解でよいかとの質問があった。これに対して事務局からは、貸付金や賃貸等不動産など公正価値を每期継続して注記している資産及び負債についても、公正価値のレベル別の内訳の注記をすることが求められる旨の回答がなされた。
- ・ 別の委員から、公正価値を算定するにあたって用いられた評価技法に変更がある場合は会計上の見積りの変更該当すると整理されているが、例えば株式についての評価技法をインカム・アプローチからマーケット・アプローチへ変更することは、会計上の見積りの変更と言えるのかとの指摘があった。これに対して事務局からは、このような整理はIASBでの取扱いを踏まえたものである旨の回答がなされた。

以 上